

## 第 36 回 (2013 年) 日本分子生物学会年会 フォーラムプログラム

2013 年 8 月 29 日 (木)

名古屋大学 リサーチアドミニストレーション室 大住克史

### 3F9 ナノテクノロジーのバイオ研究への応用

Application of nanotechnology to biological research

日 時 : 2013 年 12 月 5 日 (木) 18:00~20:00

会 場 : 第 9 会場 (神戸国際会議場 5 階 502)

オーガナイザー : 馬場 嘉信 (名古屋大学 工学研究科)

武田 穰 (名古屋大学産学官連推進本部)

ナノテクノロジーは、1~100 ナノメートル程度の世界を対象とした学術・技術的領域である。近年、分子生物学や構造生物学との融合が進み「ナノバイオテクノロジー」という新たな分野が誕生した。日本のナノバイオテクノロジーは、基礎研究、応用研究ともに世界のトップレベルであるが、産業界や一般社会での認知度は高くない。さらなる異分野融合と産学官連携によりイノベーションを創出し、研究成果の事業化を促進する必要がある。

この目的を達成するために、2012 年より「ナノテクノロジープラットフォーム (NPF) 事業」がスタートした。最先端のナノテクノロジー研究設備を持つ 25 の大学・研究機関が連携し、今後 10 年間で研究設備の全国的な共同利用体制を確立する。

本フォーラムでは、この 1 年間の成果事例を報告し、ナノテクノロジーとバイオ研究の融合を考えている研究者へのヒントとしたい。ナノテク技術を用いて、新たなデータを取得できる可能性があり、個々の研究を更に推進することができる。さらに、ナノテクとバイオによる新領域開拓の足掛かりとなり、我が国の研究基盤の強化につなげたいと考えている。

18:00-18:20 異分野融合を推進する「ナノテクノロジープラットフォーム」とは？

講演者 : 松山 豊 (JST 産学連携展開部)

18:20-19:00 分子・物質合成プラットフォーム支援による超高解像イメージングの実現

講演者 : 湯川 博 (名古屋大学 革新ナノバイオデバイス研究センター)

19:00-19:30 最先端電子顕微鏡技術による細胞の立体構造解析

講演者 : 村田 和義 (自然科学研究機構 生理学研究所)

19:30-20:00 あってよかった！NPF

～ナノテクノロジーを活用した病原微生物バイオセンサの開発～

講演者 : 佐藤 久 (北海道大学大学院 工学研究院 環境創生工学部門)